

アートスタート事業

幼い頃から芸術に親しむことが、子どもの成長に良い影響を与えることが分かっている。草津の文化を担う次世代を育成するとともに、大人になっても文化に親しむ基盤づくりを行うため、これまで手が行き届いていなかった乳幼児（0～3歳）向けのアートプロジェクトを実施する。

背景

1 草津市文化振興計画

基本施策5「子どもおよび若者の文化活動の充実」

→成果指標「子ども向け文化事業の総参加者数」に合算する事業として掲載

→事業例の中で新規事業として掲載

重点プロジェクト①「次世代文化体験プロジェクト」

2 草津市文化振興審議会の意見

R4.10.14 令和4年度第2回草津市文化振興審議会

- ・アートスタートは、良いところに目をつけている。私も未就園児向けのイベントを開催しているが、皆さん「行くところがない」と仰られている。ぜひこの事業を大切にいただきたい。
- ・親が行きたくても子どもがいるから、託児施設を利用するという話を聞いたことがあるが、そうではなくて未就園児まで一緒にイベントを体験できるのは草津市の取り組みの姿勢としてよいことである。

【参考】「親の子どもへの接し方」「親の教育意識」と学力の関係 ※ベネッセ教育研究所による調査（一部抜粋）

「とても当てはまる」「まあ当てはまる」と答えた項目	国語			算数		
	A層	D層	差	A層	D層	差
子どもが小さい頃、絵本の読み聞かせをした	80.9	63.0	17.9	79.1	67.4	11.7
博物館や美術館に連れて行く	37.9	22.0	15.9	34.4	20.7	13.7
殆ど毎日、子どもに勉強しなさいと言う	51.2	56.9	-5.7	49.5	56.8	-7.3
子どもの勉強を見て教えている	59.7	58.8	0.9	57.4	58.5	-1.1
子どもに一日の出来事聞く	87.1	86.0	1.1	88.6	86.1	2.5
子どもに色々な体験の機会を作るよう意識している	86.3	81.1	5.2	88.4	79.0	9.4

※A層は最も良い点数、D層は最も悪い点数の学力層

事業内容

音楽 オペレッタ&コンサート

クラシック音楽のみでは敷居が高いため、オペラの小規模版であるオペレッタとパッケージにして、親も事業に参加しやすいものにする。

オペレッタ（喜歌劇）：台詞と生歌と踊りのあるオーケストラ付きの音楽劇。使用される音楽はオペラと同様、クラシック音楽に限定される。

ミュージカルとの違い

→オペレッタより踊りの比重が高い。使用される音楽は、ジャズやポップ等ジャンルは問わない。



期待される効果

言語能力の発達

聞いた音は乳幼児の中で蓄積され、学習する。蓄積された音を組み合わせることにより、言葉が言えるようになる。

音感の向上

身近な音楽を楽しんで聴いているうちに、音の高低や強弱に触れることになり、音の性質を聞き分ける力が身につく。

感情表現が豊かになる

音楽は、嬉しさや悲しさ等その表現したいテーマに合わせてリズムやテンポが変わる。これを聞くことで、感情表現を感覚的に学ぶことができる。